



湖 議 第 234 号

令和 7 年 2 月 20 日

湖西市議会議長

馬場 衛 様

総務経済委員会

委員長 滝本 幸夫



総務経済委員会中間報告書

本委員会で調査した件につき、会議規則第 45 条第 2 項の規定により報告します。

総務経済委員会 中間報告書

1. 活動期間

令和5～6年度

2. 重点調査事項（所管事務調査）

- ・移住定住促進事業
- ・道の駅潮見坂管理運営事業
- ・新庁舎建設について（議会フロア）

3. 活動実績

■委員会

年	月日	主な内容	年	月日	主な内容
R5	5. 19	役員選任	R6	9. 25	決算審査・意見書提出
	9. 26	決算審査・付託議案審査	R7	1. 14	付託議案審査
R6	3. 12	予算審査		1. 21	付託議案審査

■所管事務調査（勉強会27回・行政視察6市ほか）

年	月日	会議等	主な内容	資料
R5	6. 22	勉強会	当局報告事項 ほか	資料1
	7. 11	勉強会	令和5年度主要・重要事業ヒアリング	
	7. 24	勉強会	令和5年度主要・重点事業ヒアリング ほか	
	8. 21	勉強会	当局報告事項 ほか	
	9. 6	勉強会	議会の事務事業評価について	
	9. 26	勉強会	議会の事務事業評価（当局ヒアリング） ほか	
	10. 4	勉強会	議会の事務事業評価（提言まとめ）	
	10. 16	市長提言	令和4年事務事業評価に係る市長への提言	
	10. 17	勉強会	当局報告事項 ほか	
	11. 14	勉強会	当局報告事項 ほか	
	12. 8	勉強会	当局報告事項	
	12. 14	勉強会	調査研究事項について	
R6	1. 9	勉強会	当局報告事項 ほか	
	1. 30	勉強会	当局報告事項 ほか	
	1. 30	意見交換	道の駅潮見坂に関する意見交換会	
	2. 19	勉強会	議会の事業評価提言の対応状況報告について ほか	
	2. 28	勉強会	当局報告事項 ほか	

	3. 12	勉強会	当局報告事項 ほか	
	4. 26	行政視察	静岡県焼津市・島田市	資料 2
	5. 13	勉強会	令和 6 年度主要・重点事業ヒアリング ほか	
	5. 17	行政視察	愛知県常滑市・高浜市	資料 3
	5. 23	勉強会	令和 6 年度主要・重点事業ヒアリング ほか	
	6. 21	勉強会	当局報告事項 ほか	
	7. 11	勉強会	当局報告事項 ほか	
	8. 22	勉強会	議会フロアの要望にかかる意見交換 ほか	
	8. 27	勉強会	地震財特法の延長に関する意見書の提出について	
	10. 4	勉強会	当局報告事項 ほか	
	10. 16	行政視察	愛知県豊橋市・新城市	資料 4
	11. 19	勉強会	行政視察（10/16）の振り返り	
	11. 26	勉強会	当局報告事項 ほか	
	11. 29	提出	議会フロア要望報告書提出	資料 5
	12. 20	市長提言	令和 5 年事務事業評価に係る市長への提言	資料 6
	12. 20	勉強会	当局報告事項	
R7	1. 14	勉強会	当局報告事項	

4. まとめ（活動の成果・継続事案等）

（１）移住定住促進事業（令和５年度）

湖西市における昼夜間人口差の解消、少子高齢化対策、若年層の転出抑制は喫緊の課題である。これらの課題に対応するため、移住・定住支援策の効果を客観的に評価し、施策の見直しを図る必要がある。転入促進と定住支援の充実による市の活力向上を目的として、調査対象に選定した。当局が実施する関連事業についてヒアリングを行い、調査研究を進めた。

（２）道の駅潮見坂管理運営事業（令和５～６年度）

近隣市町の道の駅が地域活性化の拠点として機能する中、道の駅「潮見坂」の持続可能な運営と競争力の向上が課題となっている。来訪者数の伸び悩み、施設の老朽化、駐車場不足といった課題への対応が求められる状況である。湖西市の観光資源を活かした誘客施策の検討や地域産業との連携強化を目的として、調査対象に選定した。当局が実施する関連事業についてヒアリングを行うとともに、道の駅「潮見坂」の管理者との意見交換会を実施。また、道の駅「とよはし」や道の駅「もっくる新城」への現地視察を通じて運営体制の課題を整理し、改善方針を共有した。さらに、他地域の成功事例を参考にしながら調査研究を進めた。

（３）新庁舎建設について（議会フロア）

新庁舎建設に伴い、議会機能の向上、老朽化した議会設備の改善、ユニバーサルデザインや ICT 化の推進が課題となっている。市民の傍聴環境の整備や「開かれた議会」の実現、議会運営の効率化を目的として、調査対象に選定した。議会フロア

に関する要望や意見について勉強会で議論を重ねるとともに、先進自治体の庁舎を視察し、議会機能向上に向けた設備や設計事例を調査した。その結果を取りまとめた議会フロア要望報告書を、第2回新庁舎建設推進本部会議に提出した。

以上の調査を経て、(1)及び(2)については、当委員会において議会による事務事業評価を行い、令和5年10月及び令和6年12月に市長へ提言書を提出した。

※委員会提言の内容は別紙「事務事業決算 審査調書」のとおり

委員長 滝本幸夫 副委員長 福永桂子

委員 神谷里枝 荻野利明 楠 浩幸 寺田 悟

令和 4 年度決算 湖西市議会 事業評価決算審査調書

総務経済委員会

No.	1	評価対象事業No.	12	個票掲載事業No.	8	主要施策成果	24
移住定住促進事業							
総合計画体系	戦略	戦略④交流	施策	21 移住定住促進	基本事業	48, 49, 50	
予 算	当 初	55,185 千円	事務事業 評価結果	達成状況	未達成		
	補正後	60,274 千円		評価判定	必要性	有効性	効率性
決 算	決算額	51,059 千円			A	B	C
	不用額	9,215 千円		方向性 (R5/R6~)		維持／維持	

(1) 議会の評価結果			評価の根拠（議会から見た成果と課題）	
C	指 標	票	・制度利用者のアンケート結果で「制度が湖西市に住むきっかけになった」と回答する割合は 2 割程度ということであり、当該事業が移住定住に十分な効果があったとは言えない。 ・転入転出者を対象としたアンケートに協力してもらえる人数が少ないということもあり、当該事業に対する意見の集約が難しいことも課題である。	
	A 評価できる			
	B やや評価できる	3		
	C あまり評価できない	3		
	D 評価できない			
(2) 事業の方向性			決算審査・中間調査（現年度執行状況）による今後の事業の考え方	
4	指 標	票	・現状の補助事業を全体的に見直し、補助事業の集約を図るべきである。 ・転出者を防ぐことに重点を置く補助事業を望む。 ・移住、定住者の動向や補助事業の効果を詳細に分析する必要がある。	
	1 拡充			
	2 継続	1		
	3 改善し継続	2		
	4 大幅な見直し	3		
	5 縮小・廃止の検討			
(3) 翌年度予算への提言			翌年度予算額案	
翌年度予算額案は「維持」とするが、補助事業内容の大幅な見直しを行い、効果的な事業にすること。			減額・ <u>維持</u> ・増額	

No.	2	評価対象事業No.	114	個票掲載事業No.	75	主要施策成果	120
道の駅潮見坂管理運営事業							
総合計画体系	戦略	戦略④交流	施策	20 観光振興	基本事業		
予 算	当 初	52,697 千円	事務事業 評価結果	達成状況	達成		
	補正後	56,766 千円		評価判定	必要性	有効性	効率性
決 算	決算額	50,664 千円			B	C	B
	不用額	6,102 千円		方向性 (R5/R6~)		維持／拡大	

(1) 議会の評価結果			評価の根拠（議会から見た成果と課題）	
C	指 標	票	・商品や食堂メニュー、売場レイアウトの改善に向けて努めたようであるが、市内外へのPRも含め、来館者数の増加に向けた取組みが十分であるとは言えない。 ・トイレや駐車場についても利用しやすいと言い難い。 ・改修工事によりお土産売場を新たに設けたが、商品内容やレイアウトなど、来館者の増加につながるものかが疑問である。	
	A 評価できる			
	B やや評価できる	2		
	C あまり評価できない	3		
	D 評価できない	1		
(2) 事業の方向性			決算審査・中間調査（現年度執行状況）による今後の事業の考え方	
4	指 標	票	・湖西市内への誘導と顧客満足度、売上げの向上を目指し、商品や食堂メニュー、売場レイアウトのさらなる改善を望む。 ・トイレの美化修繕、駐車場（乗用車駐車スペースの拡充など）については、引き続き改善に向けた関係機関との調整を望む。 ・道の駅における観光、地域産業の情報発信の充実（ホームページのリニューアル、SNSの活用など）が必要である。	
	1 拡充			
	2 継続	2		
	3 改善し継続	1		
	4 大幅な見直し	3		
	5 縮小・廃止の検討			
(3) 翌年度予算への提言			翌年度予算額案	
翌年度予算額案は「維持」とするが、予算の範囲内でできる改善を早急に、かつ、着実にすること。			減額・ <u>維持</u> ・増額	

別記様式(第 6 条関係)

令和 6 年 6 月 21 日

(宛先) 湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 滝本 幸夫

研修成果報告書

湖西市議会議員研修要綱第 6 条第 1 項の規定により、次のとおり研修成果を報告します。

1 研修日時 令和 6 年 4 月 26 日

2 研 修 先 焼津市役所及び島田市役所

3 研修目的 先進事例の取り組みや建設物等を視察し、湖西市における新庁舎建設の参考とするため。

4 研 修 者 馬場議長 他 16 名

5 成果（具体的に）

(1) 焼津市役所

① 庁舎

ア. 特徴

- ・ 7 階建の市庁舎から見える焼津港と富士山を背景として有効利用
- ・ 庁舎全体が機能的で民間のオフィスのような印象
- ・ 窓口部門を 2 階に集約し短時間で手続きが完結できる配置
- ・ 市民の集う場所として、1 階の海街ホールや 7 階の展望ロビーを設置

イ. 防災

- ・ 72 時間以上稼働可能な非常用発電機設備
- ・ 屋上にホバリングスペース
- ・ 中間層免震構造の導入
- ・ 主要設備の 2 階以上配置、津波対策として 1 階は津波が流れる構造
- ・ 地震発生時に自動で館内放送が流れ、避難誘導が行われるシステムが整備
- ・ 危機管理部門が本庁とは別にあるため、本庁が機能停止しても対応可
- ・ 4 階建ての立体駐車場が併設され、連絡通路により庁舎との往来が可能であり、避難デッキとして活用

ウ. ユニバーサルデザイン

- ・各階にバリアフリートイレがあり、オストメイトやおむつ替えのベビーベッド設置
- ・視覚障害者に配慮した音声誘導、聴覚障害者に緊急を知らせるフラッシュライトを配備
- ・1階と2階に授乳室を設置

エ. 環境配慮

- ・省エネルギー対策としてLED照明の採用、太陽光発電設備（20kW）の設置
- ・井戸水を空調の一部とし、トイレ洗浄水に利用

オ. その他

- ・芝生広場でキッチンカーやマルシェを実施
- ・バックヤードに職員の休憩スペースを設置し機能性、効率性向上
- ・感染症対策として執務室の排気系統にCO2センサーを設置し、強制換気

② 議場フロア

- ・大きなガラス窓を採用し自然光が入るため開放的
- ・電子採決システム、議場と傍聴席に大型スクリーン設置
- ・デジタルサイネージを議会棟入口に設置
- ・親子（防音個室）傍聴室、議場傍聴席に難聴者対応磁気ループ設置。
- ・車椅子対応傍聴席（2台分）
- ・全議員が予約で利用できる応接室の設置
- ・ネームプレートを起こすと自動的に定数カウント

（2） 島田市役所

① 庁舎

ア. 特徴

- ・エントランスや議場の机・椅子等市民の目に留まる場所に大井川流域産材を使用
- ・市民サービス窓口の集約化、L字型共用ロビーより視認性向上
- ・ホテルのような高級感、分かりやすい表示とレイアウト
- ・執務室のユニバーサルレイアウト及びフリーアドレス化により固定されないデスクワーク

イ. 防災

- ・球面すべり支承、U型鋼製ダンパーの2種類の免震装置
- ・最新の耐震技術を用いて設計（耐震壁や耐震ダンパー）
- ・浸水被害及び液状化被害が無い立地環境
- ・免震構造がメンテナンスフリーで、ランニングコストがかからない
- ・大洪水に備え、非常用発電地下タンクと緊急汚水槽設置

- ・地下水を利用した空調システムを採用し、災害時はトイレ汚染水として利用可能
- ・72時間非常用発電設備の設置

ウ. ユニバーサルデザイン

- ・多目的トイレ以外の親子トイレや男女共用トイレ各階に設置
- ・各フロアのゆとりがあり、階段が緩やか
- ・託児所、プレイコーナー、子連れ向けトイレの設置

エ. 環境配慮

- ・ZEB Ready 規格に準所しており、カーボンニュートラルに対応
- ・建物2階から4階に吹き抜け設置、自然換気による省エネ効果
- ・災害時活用するため民間企業が太陽光発電設置（平時は市が買取り使用）
- ・コミュニケーションポイド（屋根断面計画）による自然換気

オ. その他

- ・1・2・4階に職員用のスタッフルーム（休憩室）設置
- ・キャスター付き可動デスク、椅子、パーテーションで打合せ空間の創出
- ・パーソナルロッカーを設置
- ・更衣室が充実（洗面、シャワー設備）

② 議場フロア

- ・議場の壁面に木材使用、黒を基調とし、緊張感ある空間を演出
- ・議場のバリアフリー化・防音性の高い親子傍聴席（ガラス張り）の設置
- ・相談室、控室の設置が充実
- ・議場の椅子は可動式、車いす使用を想定しフラットな構造
- ・当局と議会側の席が対面式であり最近のトレンドを導入

（３） 参考となるポイント

- ・地域の特性や文化に配慮したデザイン
- ・市民参加型の設計プロセスの導入
- ・市民のみならず職員にとっても利便性の高い機能
- ・環境へ配慮した構造
- ・大地震や洪水が起きても拠点として機能するため防災対策

（４） 所感

湖西市の新庁舎建設に際しては、焼津市役所や島田市役所の取り組みを参考にしつつ、地域のニーズや特性に合わせた計画を進めることが重要である。市民参加型の設計プロセスや環境配慮にも十分な配慮を行い、地域の発展と市民・職員の利便性を追求する方針が望ましい。また、議会として「開かれた議会づくり」を目標に議会フロアにかかる部分を当局へ要望していく。

別記様式(第 6 条関係)

令和 6 年 6 月 21 日

(宛先) 湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 滝本 幸夫

研修成果報告書

湖西市議会議員研修要綱第 6 条第 1 項の規定により、次のとおり研修成果を報告します。

- 1 研修日時 令和 6 年 5 月 17 日 (金)
- 2 研 修 先 愛知県常滑市役所及び高浜市役所
- 3 研修目的 先進事例の取り組みや建設物等を視察し、湖西市における新庁舎建設の参考とするため。
- 4 研 修 者 馬場議長 他 15 名
- 5 成果 (具体的に)
 - (1) 常滑市役所
 - ① 庁舎
 - ア. 特徴
 - ・ 市民会議を定期的を開催し市民の意見を反映させた庁舎建設
 - ・ 縦割りの弊害打破にむけ、外廊下式に設計し、動線短縮の部署配置
 - ・ 市民が作成した作品や常滑焼を展示し常滑市の特産を活用「スクラッチタイルプロジェクト」
 - ・ 庁舎内を移動できる職員専用階段が執務室中央に設置 (吹き抜け風)
 - イ. 防災
 - ・ 津波、液状化が懸念され、沿岸部から高台移転
 - ・ 常滑 IC 付近で災害時の防災拠点として機能性高い
 - ・ 災害用汚水槽の設置、72 時間稼働可能な非常用発電
 - ウ. ユニバーサルデザイン
 - ・ 突き出し型の大番号サインを設置し目的地が一目でわかる工夫
 - ・ 文字表示だけではなくピクトグラム使用
 - ・ 各階にバリアフリートイレ設置、エレベーターに白杖認識システム

エ. 環境配慮

- ・太陽光発電設備、LED 照明の使用
- ・トイレ用洗浄水に井戸水使用

オ. その他

- ・執務室は可動式家具で区分し、フリーアクセスのため自由なレイアウト
- ・職員の広い休憩室、電子レンジや給湯器など福利厚生充実
- ・職員休憩室内に無人コンビニ設置（電子マネーのみ対応）
- ・緊急防災・減災事業債を活用し財政負担軽減
- ・フロアの中央で会議ができるコミュニケーションスペース設置

②議会フロア

- ・円形議場であるため序列が見えにくく、市と議会がチームで議論している形式
- ・机と椅子は可動式で多目的使用可
⇒多目的利用時の机や椅子の移動、コンセントの接続作業が困難
- ・音響は無線だが、不具合が発生
- ・委員会室は1室のみで、全ての委員会、全協を実施
- ・市民からの相談を受ける部屋は、事務局隣に、カメラ付きで1室あり
- ・会派室は、3室あり。ロッカー、個人用机あり。

（２）高浜市役所

①庁舎

ア. 特徴

- ・地場産の三州瓦活用し、高浜の特色を主張
- ・整備コストや将来の維持管理コストの軽減を図りリース契約（20年間）
- ・建物面積を移転前から35%削減
- ・コスト重視で市の経済状況や未来の負債を残さないよう必要最低限の設備
- ・コンパクトすぎて閉塞感

イ. ユニバーサルデザイン

- ・多機能トイレ設置（オストメイト対応）

ウ. 環境配慮

- ・太陽光発電設備

エ. その他

- ・コンパクト設計であるため他部署との距離が近い
- ・壁際がすべてロッカーになっており、換気ができない。

②議会フロア

- ・議場を多目的利用可（すべて可動式）
- ・議場は大きな会議室の印象、議論をする場としては有効

- ・ 委員会室を設けず全て議場で常任委員会も開催
- ・ 仕切りが簡易であったため防音が必要

（３）参考となるポイント

- ・ 地域の特性や文化に配慮したデザイン
- ・ 市民参加型の設計プロセスの導入
- ・ 市民のみならず職員にとっても利便性の高い機能
- ・ 環境へ配慮した構造
- ・ 大地震や洪水が起きても拠点として機能するため防災対策
- ・ 費用の課題抑制の問題点

（４）所感

湖西市の新庁舎建設に際しては、常滑市役所や高浜市役所の取り組みを参考にしつつ、地域のニーズや特性に合わせた計画を進めることが重要である。市民参加型の設計プロセスや環境配慮にも十分な配慮を行い、地域の発展と市民・職員の利便性を追求する方針が望ましい。また、議会として「開かれた議会づくり」を目標に議会フロアにかかる部分を当局へ要望していく。

令和 6 年 11 月 19 日

(宛先) 湖西市議会議員 馬場 衛 様

湖西市議会議員 滝本 幸夫

研修成果報告書

湖西市議会議員研修要綱第 6 条第 1 項の規定により、次のとおり研修成果を報告します。

- 1 研修日時 令和 6 年 10 月 16 日
- 2 研 修 先 道の駅とよはし及び道の駅もつくる新城（座学は新城市役所）
- 3 研修目的 道の駅潮見坂の持続可能な施設運営に向け、他の道の駅の実態やノウハウなどを調査する。
- 4 研 修 者 滝本幸夫、福永桂子、神谷里枝、荻野利明、楠 浩幸、寺田 悟
- 5 成果（具体的に）
 - (1) 道の駅とよはし（説明：白井駅長）

①詳細

項目	内容
開駅年月日	2019 年 4 月 19 日
敷地面積	約 35,000 m ²
延床面積	約 1,900 m ²
駐車場	西側：普通車 129 台、身体障害用 3 台、二輪車 32 台 東側：大型車 82 台、普通車 41 台、身体障害用 3 台、二輪車 8 台
運営形態	指定管理管理者制度
指定管理者	株式会社道の駅とよはし（第 3 セクター）
選定方法	プロポーザル公募
指定管理料	288 万円/年
敷地管理	西側：指定管理者 ※土地は JA と市有地 東側：国土交通省
テナント	9 店舗（飲食 6 店舗、物販 3 店舗）

	5 年契約、期限到達後は再公募 テナント料は、売り上げの 4%と場所代
客層	豊橋在住者 6 割、湖西・浜松 2～3 割 ⇒リピーター客がメイン
広報	インスタグラム（フォロワー15,000 人）、X、TikTok 費用：400 万円/年
通販サイト	ベイス（手数料やすいが、認知度低い）
イベント・体験	・バギーガイドツアー（人気） ・トウモロコシやさつまいもの収穫体験 ⇒学習体験と銘打って参加費徴収 ・マルシェ（第 1 水曜、第 3 土曜）
来場者数	220 万人/年

②取り組み

- ・駐車場が不足するため、西側の民間圃場を借用し駐車場の確保
- ・圃場を買い取ったうえで農地転用し、BBQ 場の提供を企画中
- ・来場者へプロサーファーを紹介
- ・マルシェがマンネリ化したため、令和 6 年 10 月からフリマ開催
- ・プロジェクト室の貸し出し
⇒70～80%稼働（半日 700 円と非常に安価であることが要因）
- ・東海エリア初のペイフルの導入
- ・レンタルサイクルの実施
- ・クラフトビールの売り出し（イベントでの販売）

③課題

- ・駐車場の不足
- ・ファミリー層の娯楽施設がない。
⇒家族で遊べる場所やドッグランの設置など要望多数あり
- ・マルシェをのスペースが狭く、出展業者を制限している。
- ・東側の活用の検討（無人コンビニの設置など）
- ・テナントの 5 年契約は売り上げが落ちても途中で契約切りができない。
また、ペナルティも課せないため対応に苦慮。
- ・道の駅での観光 PR が弱い。
- ・生産者の高齢化により廃業が増え、直売所の商品数が減少傾向にある。

④駅長の意見・考え方

- ・指定管理の強みは、営業ノウハウを持っている業者が自発的に運営できる。
- ・魚、肉、野菜が揃うと顧客満足度は高くなる傾向にある。

- ・自販機の売り上げは馬鹿にできない。(年間 420 万)
- ・駐車場のマーク表示 (空・満) の設置は慎重に。(故障の際に大変)

(2) 道の駅もつくる新城(説明: 観光課 磯原、田原駅長)

①詳細

項目	内容
開駅年月日	2015 年 3 月 21 日
敷地面積	約 10,296 m ²
延床面積	約 1,073 m ²
駐車場	大型車 13 台、普通車 75 台
運営形態	指定管理者制度
指定管理者	株式会社名鉄ミライト
選定方法	プロポーザル公募
指定管理料	なし ※純利益の 20%を市へ支払い
敷地管理	指定管理者 (市有地) ※奥三河観光協議会は指定管理対象外
客層	60~70 代がメイン。土日は若年層も来場 豊橋 4 割、名古屋 2 割、浜松 2 割、その他 2 割 ⇒ナンバープレートの定点観測より
広報	インスタグラム (フォロワー約 2,500 人)、X 費用: 240 万円/年 チラシ印刷 3 万、折込 3 万、ラジオ (FM 豊橋) 2 万
通販サイト	ふるさと納税サイトのみ (以前は楽天とラクウル)
イベント・体験	・沖縄フェア、周年祭など ・卵かけご飯モーニング

②取り組み

- ・足湯の廃止
⇒源泉汲み取りの負担や施設の更新が必要となり、足湯目的に来駅する方はほとんどいないため廃止をしコストカット
- ・ドッグランの設置
- ・月 1 回以上のイベント開催
⇒年間予定表を作成し、自社で計画・発注
- ・他の道の駅との盛んな交流・視察
⇒現地を視察し積極的な意見交換を行う。
- ・卵かけご飯モーニングの開催

⇒午前中の売上が 30 万/年から 1,500 万円/年に増加（50 倍）

- ・直売所の販売戦略

⇒棚に空きスペースを作らず、農作物が不足する場合は加工物で埋める。

③課題

- ・「観光型」に位置するため午前中の来場者が少ない。
- ・リピーターの獲得
- ・オリジナル商品の開発

④駅長の意見・考え方

- ・売上を考慮するのであればフードコートを充実させる。
⇒野菜の販売は利益低
- ・トイレが充実すると賑わいが出る。
- ・バスの乗車客は若年層が多く売上貢献度低い。ターゲットは 50 代以上
- ・指定管理にする際に売上の〇%をもらう条件だと参画しにくい。
⇒売上をもらわない分、地域貢献に旗振りしてもらう条件であれば、潮見坂のポテンシャル的に参画業者はいると思う。

（３）所感

- ・指定管理制度や地域企業とのパートナーシップを活用するなどの柔軟な運営体制の導入は、市の委託と比べて柔軟に運営計画を立案し、迅速に実行に移せる点が強みになる。
- ・道の駅潮見坂にできることは、イベントやプロモーションをより迅速に実行できる環境を整え、季節ごとに異なるテーマのイベントやワークショップを企画し、何度でも訪れたいような工夫を行うことである。例えば、しらす料理の体験イベントや定期的な特産品フェアなど実施してみてはどうか。
- ・JA や地元農家とさらに連携強化し、地域の魅力ある食材を品揃えよく直接手に取れる環境をもっと整備することで、地元特産品への認知度を高め、道の駅自体を観光の目的地にできるのではないかな。
- ・両道の駅では、地域の食材を使ったオリジナルメニューやご当地グルメが人気を集めており、潮見坂でも、湖西市ならではの限定メニューやシーズン限定商品を提供することで、道の駅のブランド化やお土産としての魅力を強化し、食を楽しみに訪れる人を増やす工夫を取り入れるべきである。

- ・地元観光サイトでの情報発信も強化して季節のイベントや特産品の最新情報をタイムリーに発信することに加え、来場者が SNS でシェアしたくなるようなフォトスポットの設置や、インセンティブがあるキャンペーンも効果的と考える。
- ・持続可能な発展する道の駅を目指すのであれば、指定管理制度導入や商売の知識者、経営コンサルタントなどの活用なども含め、今一度運営・経営方針の再検討が必須ではないかと強く感じた。
- ・道の駅からの景観は、文句なしに白須賀からの景観は優っている。しかし、なんと言っても駐車場が少ないことが問題。もっと拡張できればと思う。
- ・販売所については、両市ともに特産品などが出品されていた。潮見坂の場合、豊橋・新城にはない魚介類（かき・アサリ・ウナギなど）の販売に力を入れる必要があると考える。飲食店においてもこれらをメインとした料理を出せば絶対受けると思う。特に、かきを焼いてその場で食べられると人気が出ると思う。
- ・道の駅潮見坂は確実に「観光型」と認識するが、現状は中途半端で、目的と客層、ターゲットを何処に持っていくかがポイントである。
- ・道の駅潮見坂は観光拠点としてのポテンシャルは高い。体験イベントの企画運営、道の駅からどうやって湖西市内に誘客するのか、観光案内所の機能を考えると、観光協会の事務所を道の駅に移してはどうか。
- ・道の駅収入と建物の維持管理や改築経費が長期的に見合っているのか検証し、そもそも道の駅潮見坂が必要か再検討していきたい。



<上図は道の駅とよはし>



<上図は道の駅もつくる新城>

議会フロア要望報告書

令和 6 年 11 月 29 日提出

総務経済委員会作成

1. 目的

新庁舎建設基本計画を策定するにあたり、湖西市議会として、議会フロアに関する要望を提出し、計画策定の参考としていただくことを目的とする。

2. 前提

- ・新庁舎の建物の規模等が未定であるため、予算や規模等を考慮せず漠然とした要望内容とする。
- ・現時点における湖西市議会としての要望をまとめたものである。
- ・3. 要望事項 (2) 会議室関係における設置優先度を「非常に高い」、「高い」、「低い」、「非常に低い (不要)」の 4 段階で示している。

3. 要望事項

(1) 議場

① 構造

項目	現状	要望内容
位 置	最上階	最上階
形 式	段床方式	フラット方式
配 置	基本型（現状のとおり）	基本型（現状のとおり）
雰囲気	シンプル	シンプル
多目的利用	利用不可	利用可
規 模	204.72 m ²	現議場と同規模

② ユニバーサルデザイン面

出来るだけ多くの人が利用できることを目指した議場を目指すため、以下のとおり要望する。

- 車椅子専用の議席の設置
- 車椅子専用の傍聴席（スペース）の設置
- 傍聴席の出入口をフラット化もしくはスロープの設置
- 防音の親子傍聴室の設置
- 難聴者用に骨伝導イヤホン、磁気ループの設置
- 報道記者及びカメラスペースの設置

- 身体の不自由な方でも通れる前後の間隔にゆとりのある傍聴席の配置

③ ICT面

デジタル化が推進されている現状を踏まえ、以下のとおり要望する。

- 電子採決システムの導入
- 説明資料をアップできる大型モニター（複数台）の設置
- 外国人傍聴者に対応した多言語翻訳システムの導入
- 難聴者用にループアンテナを設置し、画面に文字が反訳される機能の導入

④ その他

その他事項について、以下のとおり要望する。

- 多目的利用を想定し、可動式の机や椅子の導入

(2) 会議室関係

① 部屋数等

ア. 委員会室

項目	現状	要望内容
部屋数	2 部屋	2 部屋（全協用と委員会用で各 1 部屋）
規 模	委員会室 93.14 m ² 第 1 会議室 104.54 m ² （全協で使用）	委員会や全協ができる最低限の広さ
当局との共用	可（委員会室のみ）	可（委員会用のみ）
設置優先度		非常に高い

イ. 正副議長室

項目	現状	要望内容
部屋数	1 部屋	1 部屋
規 模	49.12 m ²	現状と同規模
当局との共用	不可	不可
設置優先度		非常に高い

ウ. 会議室

項目	現状	要望内容
部屋数	2 部屋	3 部屋

規 模	第 3 会議室 30.17 m ² (8 名程度収容可) 議員会議室 51.07 m ² (12 名程度収容可)	8 名程度で打合せできる広さ
当局との共用	可 (議員会議室のみ)	可 (1 部屋のみ)
設置優先度		非常に高い

エ. 図書室

議員図書室は、地方自治法第 100 条 18 項で設置を義務付け

項目	現状	要望内容
規 模	会議室の 1 角	ロビーに図書棚を置き図書コーナー設置

オ. 議員控室

項目	現状	要望内容
部屋数	1 部屋	1 部屋
規 模	第 2 会議室 39.86 m ² (12 名程度収容可)	議員全員が休憩や昼食を取れる広さ
当局との共用	不可	不可
設置優先度		高い

カ. 相談室

項目	現状	要望内容
部屋数	設置なし	1 部屋 (新規)
規 模	設置なし	4 名程度で打合せできる広さ
当局との共用	不可	不可
設置優先度		低い

キ. 会派室、応接室

不要である。 ※現在も設置されていない。

② ユニバーサルデザイン面

出来るだけ多くの人が利用できることを目指した議会フロアを目指すため、以下のとおり要望する。

- 議会フロア内に授乳室やユニバーサルトイレの設置

③ ICT面

デジタル化が推進されている現状を踏まえ、以下のとおり要望する。

- 委員会室等で会議のオンライン配信ができる環境の整備

④ その他

その他事項について、以下のとおり要望する。

- 控室に仕事ができる環境整備（PCやプリンターの設置）
- 相談室に緊急時に事務局と連絡がとれる緊急ボタンの設置
- 女性議員専用の小部屋を設置 ※子育てやレディースデイ時の休憩スペース

事務事業（令和 5 年度決算）の評価及び提言

調査対象事業

【総務経済委員会】

No.	1	評価対象事業No.	111	個票掲載事業No.	82	主要施策成果 ^①	117
道の駅潮見坂管理運営事業							
総合計画体系	戦略	戦略④	交流	施策	20	観光振興	基本事業
事務事業評価結果 (当局)	達成状況 方向性 (R7/R8～)	未達成 維持 / 維持		評価判定	必要性 A	有効性 B	効率性 B

1. 議会から見た評価（成果と課題）

【成果】

- ・事業実績として赤字がなく、来場者数が回復傾向にあり、市の特産物 PR を継続中。
- ・地元特産品の販売を通じ、地域振興に貢献している。

【課題】

- ・トイレや駐車場の整備が急務であり、施設の老朽化が進んでいる。
- ・管轄権の分離や契約形態の制約が柔軟な事業展開を妨げている。
- ・農地活用における農地法や都市計画法などの制限。
- ・来場者数増加策や市内回遊を促す仕組みが不足し、観光案内機能も不十分である。
- ・SNS を活用した広報戦略が弱く、周辺自治体との運営体制の違いや情報共有が課題となっている。

2. 次年度以降の事業に対する提言（または意見）

① 運営体制の見直しと魅力向上

- ・令和 11 年度までに指定管理への変更や施設継続の方向性を含めた運営方針を検討する。
- ・地域貢献や観光誘客を重視した事業者選定基準を設定する。
- ・ユニバーサルデザイン対応のトイレ改修、駐車場増設、ファミリースペースの設置を優先的に進める。
- ・店舗内レイアウトの再設計を行い、訪問者の利便性を向上させる。

② 観光拠点としての方向性明確化と広報戦略の強化

- ・「観光型」としての役割を再定義し、体験型アクティビティや特産品活用を推進する。
- ・東海道回遊探索やレンタサイクルなどの観光施策を充実させる。
- ・SNS やデジタル広告を活用した認知度向上キャンペーンを展開する。
- ・地域おこし協力隊や観光協会との連携を強化し、新商品の開発や体験型イベントを進める。